

30th
Anniversary

社会福祉法人 京都市左京区社会福祉協議会

〒606-0917

京都府京都市左京区松ヶ崎堂ノ上町7番地の2 左京区役所2階 北側

※令和6年12月23日移転

TEL 075-723-5666 FAX 075-723-5665

こころのひとりぼっちを
なくそう



京都市左京区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
あかりちゃん

社会福祉法人 京都市左京区社会福祉協議会
法人設立30周年記念

左京区社会福祉協議会の歩み

1952(昭和27)年	4月	左京区社会福祉協議会発足
1983(昭和58)年	12月	北白川社会福祉協議会設立
1985(昭和60)年	4月	岩倉地区社会福祉協議会設立
1988(昭和63)年	4月	市原野社会福祉協議会設立
1993(平成5)年	6月	修学院第二学区社会福祉協議会設立
	11月	新洞社会福祉協議会設立
1994(平成6)年	4月	上高野学区社会福祉協議会設立
	6月	修学院学区社会福祉協議会設立 養徳学区社会福祉協議会設立 聖護院学区社会福祉協議会設立 久多学区社会福祉協議会設立
	7月	広河原学区社会福祉協議会設立 岡崎学区社会福祉協議会設立
	8月	花脊社会福祉協議会設立 八瀬社会福祉協議会設立 浄楽学区社会福祉協議会設立
	9月	吉田社会福祉協議会設立
	10月	川東学区社会福祉協議会設立 社会福祉法人京都市左京区社会福祉協議会設立 初代 奥田義一会長就任
	12月	別所社会福祉協議会設立
1995(平成7)年	2月	下鴨学区社会福祉協議会設立
	3月	葵学区社会福祉協議会設立 ふれあいデイ銭湯開始 左京区ボランティアセンター事業開始
	9月	大原地域社会福祉協議会設立
	11月	静原社会福祉協議会設立
1996(平成8)年		賛助会員制度の開始
	4月	鞍馬社会福祉協議会設立
	5月	松ヶ崎社会福祉協議会設立 学区社協活動交流会開始
	10月	2代目 上野み代子会長就任
1997(平成9)年		ユースアクション(青少年福祉体験事業)開始

1998(平成10)年	11月	法人設立5周年記念社会福祉大会、以降毎年大会開催 養正社会福祉協議会設立
1999(平成11)年	12月	左京合同福祉センター開設に伴い事務局移転 左京福祉事務所から生活福祉資金事業を移管 錦林東山学区社会福祉協議会設立、全学区に学区社協設立
2000(平成12)年		健康すこやか学級事業開始
2001(平成13)年		左京区わたしたちのくらしふれあいアンケート調査実施
2002(平成14)年		ボランティア連絡会発足
2003(平成15)年		左京区地域福祉活動計画第I期策定 北部まちづくり委員会設立
2004(平成16)年		左京区地域福祉推進委員会設置 法人設立10周年記念事業左京区社会福祉大会開催
2005(平成17)年		さきょう介護者の会設立 地域福祉権利擁護事業(現 日常生活自立支援事業)基幹的社協受託
2006(平成18)年	4月	岩倉地区社会福祉協議会が岩倉北、岩倉明德、岩倉南学区社会福祉協議会に分離
2007(平成19)年		左京区災害ボランティアセンター設置の覚書を左京区役所と締結
2008(平成20)年		左京区北部別所地域にて冬期除雪活動の開始 左京区地域福祉活動計画第II期策定
2010(平成22)年	10月	法人設立15周年記念事業「さきょう・ふれあい・平和・希望の灯1500個のキャンドルナイト」開催 左京区社協マスコットキャラクター「あかりちゃん」誕生 3代目 井口一朗会長就任
2011(平成23)年		共同募金「こころのひとりぼっちをなくそう応援プロジェクト」創設 左京区災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの策定
2012(平成24)年		左京区北部広河原地域にて冬期除雪活動開始 総合支援資金相談窓口が京都市社協から区社協に移管 左京区わたしたちの暮らしふれあいアンケート調査(第2回)実施 京都市と左京区28学区社協間で地域における見守り活動促進事業に係る協定締結完了
2013(平成25)年		左京区北部花脊地域にて冬期除雪活動開始 左京区地域福祉活動計画第III期策定 生活福祉資金貸付事業相談員配置 市社協受託のチャレンジ就労体験事業に協力

2014(平成26)年	10月	<p>地域あんしん支援員(コミュニティーソーシャルワーカー)配置</p> <p>4代目 山田榮一会長就任</p> <p>法人設立20周年記念事業左京区社会福祉大会開催</p> <p>左京合同福祉センター設立15周年記念「あかりまつり」開催</p> <p>若年性認知症支援「おれんじサロンさきょう」試行実施</p>
2016(平成28)年		<p>地域支え合い活動創出コーディネーター(生活支援コーディネーター)配置</p> <p>高齢者支え合い担い手養成講座開催</p> <p>共同募金「テーマ型募金」取組開始</p> <p>ブロック別学区社協会長会議、実務者会議開催</p> <p>新・地域の絆づくりモデル事業開始</p> <p>左京区北部で安心安全カードの更新を兼ねた見守り活動開始</p> <p>「地域活性化プロジェクト 左京×学生縁ねっと」との連携による活動プログラム実施</p> <p>「区お助け隊」事業実施</p>
2017(平成29)年		<p>評議員・選任解任委員会の開催</p> <p>雪かきボランティア等登録制度創設</p>
2018(平成30)年		地域における社会福祉施設の公益的な取り組み推進
2019(平成31・令和元年)		左京区地域福祉活動計画第Ⅳ期策定
2020(令和2)年		<p>(春 新型コロナウイルス感染症が広がり始める)</p> <p>専門委員会の構成の見直し検討</p> <p>区社協財源確保方策検討</p> <p>市社協と子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業推進</p>
2021(令和3)年	4月	<p>5代目 椎村梯知会長就任</p> <p>学区社協助成事業見直し</p>
2022(令和4)年	9月	<p>(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る「Withコロナ」に国が舵切り)</p> <p>地域福祉活動推進事業を活用した学区社協支援開始</p> <p>別所・花脊・広河原雪かきボランティア事業の見直し検討</p>
2023(令和5)年	6月	<p>6代目 藤田徳治郎会長就任</p> <p>市社協とともに「kyotoこころつながるプロジェクト」推進</p> <p>認知症サポーター活動促進モデル事業(長寿すこやかセンター)への協力</p> <p>左京区北部で安心安全カードの更新を兼ねた見守り活動再開</p> <p>京都工芸繊維大学にて災害ボランティア設置運営訓練実施</p> <p>左京区社会福祉大会4年ぶり通常開催</p>
2024(令和6)年	12月	<p>重層的支援体制整備事業の全区本格実施</p> <p>左京区わたしたちの暮らしふれあいアンケート(第3回)実施</p> <p>23日 左京区役所3階に事務局移転</p>

左京区社会福祉協議会の取り組み

01 学区社会福祉協議会活動の支援

左京区では、28の学区社会福祉協議会(以降、学区社協)が「知る・学び合う」活動、「出会う・ふれあう」活動、「助け合う・支え合う」活動を、それぞれの地域の実情に合わせて行っています。区社協では「地域福祉活動推進事業」で助言や必要に応じたサポートを行うとともに、区民の皆さんからいただいた賛助会費や共同募金を財源に、実績に応じて事業費の一部を助成しています。

平成12年から始まった「健康すこやか学級」事業は、介護保険制度のもと、京都市から委託を受けた介護予防の取り組みとして、学区社協活動の大きな柱となっています。



02 左京区ボランティアセンター事業の推進

左京区ボランティアセンターでは、ボランティアを始めた方の面談、見学先・活動先のご紹介や、学校や地域へ出向いて福祉への理解を深めるための講座の開催、ボランティア団体への情報提供や助成金のご紹介、ボランティア保険の受付、また、車いすの貸出し等を行っています。

03 北部山間地域の生活支援

地域の社協、民協、自主防災、消防団等の方々と、警察、消防署、地域包括支援センター、区社協で、「安心カード更新訪問」を行っています。訪問の際に、体調の変化だけでなく、生活の困りごとをお聞きしています。愛着ある地で健やかに暮らし続けることができるよう、地域のお声をお聞きしながら行政や関係機関と年間を通じた生活支援の検討を行っています。

また、地域支え合い活動創出コーディネーターも関わって、居場所づくりや買い物支援等生活支援の取り組みも進めています。



04 災害支援の取り組み

近年の多発する災害に対応するため、地域社会やボランティアによる活動支援は必要不可欠となっています。災害ボランティアセンターは、発災時に迅速な生活再建支援ができるよう、ボランティアの調整や派遣、被災者支援等を行います。

左京区災害ボランティアセンターでは、災害ボランティア活動の普及啓発とともに、令和5年度にはセンターの設置候補地である京都工芸繊維大学に

て設置・運営訓練を実施することで、災害ボランティア活動を円滑に進めるための取り組みを実施してきました。



05 子どもの居場所活動への支援

市社協とともに子どもの居場所「支援の輪」サポート事業を推進し、子どもの居場所運営団体への継続的な活動支援とともに、団体同士のネットワーク化を図る情報交換会の開催、新たな運営団体の立ち上げ支援等を行っています。

左京区内での登録団体は20団体を超過しており、活動形態も「子ども食堂」にとどまらず「学習支援」や「遊びや体験の場の提供」等さまざまな活動が展開されています。

子どもの居場所活動は、子どもや子育て家庭を“見守り支える場”として家庭・学校以外で安心して過ごせる第3の居場所(サードプレイス)になっています。

06 地域あんしん支援員設置事業

いわゆる「社会的孤立」等の状態にあり、福祉的な支援が必要であるにもかかわらず、既存の制度や地域だけでは対応が困難な方に対し、行政等の関係機関をはじめとした関係機関や地域との連携のもと、本人に寄り添いながらの伴走的な支援を行うことで、誰もが安心して地域生活を営めることを目的とした事業です。

複合的な課題を抱えているにも関わらず総合的な

支援を受けられていない方等に対して、ご本人の気持ちやペースを尊重し、粘り強く働きかけ、適切な施策やサービス等の支援につないでいきます。

07 地域支え合い活動創出事業

高齢者が住み慣れた地域で健やかな暮らしが実現できるよう、生活支援や社会参加の推進が一体的に図られることを目的とした事業です。

地域の声(気づきとやる気)を受け止め、みんなで話し合う場を創ることで、居場所活動や買い物支援等の“地域にあったらいいな”の取り組み実現に向けた働きかけを行っています。

08 日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用や家賃・公共料金等の支払い、生活費等を計画的に使うことに不安のある方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、本人との契約に基づき支援する事業です。

福祉サービスを適切に利用する援助を行うとともに、家賃・公共料金等の支払い、生活費等を計画的に使うことに不安のある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていただくための支援を行っています。

09 生活福祉資金貸付事業

所得が少ない世帯や障害者世帯、療養や介護を必要とする高齢者世帯等を対象に、資金の貸し付けとともに必要な相談支援を行うことで、安心した生活を送れるようにすることを目的とした事業です。

関係機関とも連携を図りながら借受世帯の経済的な自立と生活の安定を目指し、生活課題に対する相談支援も行います。

会長挨拶

京都市左京区社会福祉協議会
会長 藤田 徳治郎



昭和27年4月任意団体として発足した左京区社会福祉協議会は、平成6年10月に社会福祉法人となり、令和6年10月3日に30周年を迎えました。これも、多くの諸先輩方、関係者の方々、住民の皆様のお力によるものと、心より感謝申し上げます。

この30年、地域福祉を取り巻く状況は目まぐるしく変わっております。とりわけ令和2年の春から3年に渡り猛威をふるった新型コロナウイルス感染症は、社会福祉協議会が大切にしてきたふれあいの機会を奪い、地域の絆づくりを揺るがすものでした。し

かし、私たちは知恵と工夫でつながり続ける努力をし、「こころのひとりぼっちをなくそう」を心に、人と人との「つながり」を地域に広げるまちづくりを進めて参りました。

少子高齢化に加え、生活困窮等社会の変化や個人の意識の変化の中、地域で暮らす方々の福祉課題はますます複雑化、複合化し、地域福祉を支える支援者がこれまで以上につながって支えていく仕組みが必要となっています。新たなステージとして、この12月末(予定)に事務局が左京合同福祉センターから左京区役所内に移ることを機に、左京区役所はもちろん地域団体の方々、関係機関・事業所の方々、そして区内の大学や企業ともつながって、40年目に向けて左京区の地域福祉の推進に邁進して参ります。末永く変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

区長御祝辞

左京区長 森元 正純



京都市左京区社会福祉協議会が社会福祉法人設立30周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。

皆さまには、日々、左京区の福祉を推進する中心的な役割を担い、地域社会を支えていただいていますことに、あらためまして、深く感謝と敬意を表します。

貴協議会は、法人化以後、より一層、地域の生活の実態や福祉の現状を把握することに努められ、人口減少・少子高齢化社会の到来による孤独・孤立を始めた多くの今日的課題を予見し、地域福祉活動計画第I期から「こころのひとりぼっちをなくそう」をスローガンに“一人ひとりが主人公の福祉のまちづ

くり”を進めてこられました。

現在、非正規雇用の増加、物価高騰、生活困窮等の社会変化、数年に渡るコロナ禍で進んだ個々の意識変化の中、個人の生きづらさと困りごとは複雑化・複合化し、多分野に渡る福祉需要が増加しています。令和6年度からは、これらを受け止め、支援を行うために、貴協議会や左京区役所、他の支援機関が連携・協働する重層的な体制づくりに取り組んでいるところです。

今後も、貴協議会と左京区役所が連携し、一人ひとりに「居場所」と「出番」があり、相互に支え合うことのできる地域共生社会を実現し、区民の皆さまに左京区に住み続けたいと思っていただけるまちづくりを進めてまいりましょう。

結びに、京都市左京区社会福祉協議会のますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。